

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	チーム日本競技力向上推進プロジェクト	担当部署	スポーツ・青少年局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成25年度	担当課室	競技スポーツ課	競技スポーツ課長	杉浦 久弘			
会計区分	一般会計	施策名	XII-3 我が国の国際競技力の向上					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	「スポーツ基本計画」(平成24年3月30日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「夏季・冬季オリンピック競技大会において、それぞれ過去最多(夏季38(ロンドン)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得」の実現を図るため、トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの国際競技力を向上するためのプログラム等を実施する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	(1) マルチサポートによるトップアスリートの支援 メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、確実にメダルを獲得することができるよう、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、第22回オリンピック冬季競技大会(2014/ソチ)での競技や試合への最善の準備を行う環境を提供するため、選手村村外にスポーツ医・科学、情報面等から総合的にサポートするための「マルチサポート・ハウス」を設置する。 (2) 女性アスリートの育成・支援 ロンドンオリンピック競技大会は、すべての競技で男女種目が実施された初めての大会であるとともに、日本代表選手団の派遣人数においても、男性アスリートよりも女性アスリートが多く占めるなど、近年のスポーツにおける女性の活躍は著しいものがあるが、いまだ女性アスリートは男性アスリートに比べ、支援に恵まれないケースも少なくないため、男女間の機会均等を図り、女性アスリートのさらなる競技力向上を支援する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算					2,953	
		補正予算						
		繰越し等						
		計					2,953	
		執行額						
	執行率(%)							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
	オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数	成果実績	メダル獲得数				冬季:11	
		達成度	個					
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込	
	(1) マルチサポートによるトップアスリートの支援 オリンピック競技大会でメダル獲得が期待できる ターゲット競技数	活動実績 (当初見込み)	競技数	—	—	—	※25年度の 活動見込である (19)	
			競技数	(—)	(—)	(—)	(8)	
単位当たり コスト	(1) マルチサポートによるトップアスリートの支援 1競技当たりのコスト(121,052,632円/1競技)	算出根拠	単位当たりコスト=平成25年度マルチサポートによるトップアスリートの支援要求額(2,300,000,000円)/ターゲット競技数(19競技)					
	(2) 女性アスリートの育成・支援 1競技当たりのコスト(81,579,750円/1競技)		単位当たりコスト=平成25年度マルチサポートによるトップアスリートの支援要求額(652,638,000円)/ターゲット競技数(8競技)					
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金、委員等旅費	-	1百万円	※要求額のうち重点要求2,953百万円				
	職員旅費	-	2百万円					
	スポーツ振興事業委託費	-	2,950百万円					
	計			2,953百万円				

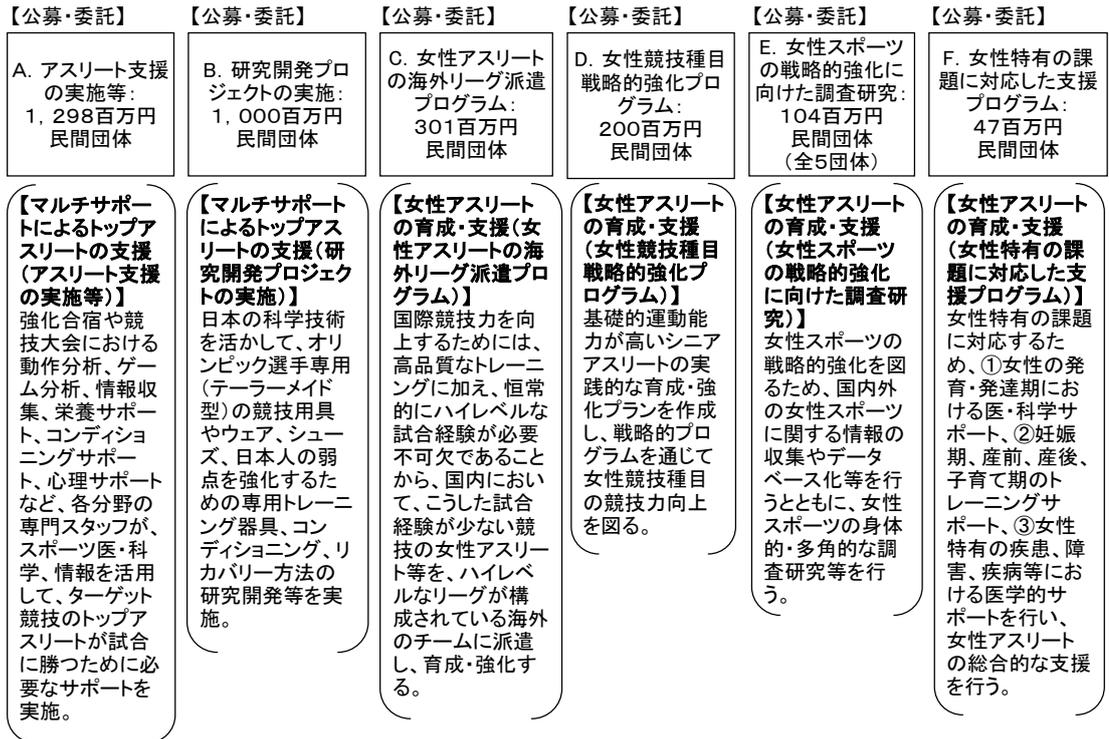
事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	本事業は、スポーツ基本計画の「ジュニア期からトップレベルに至る戦略的支援の強化」においてその必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業であり、また、トップアスリートの活躍は、国民に誇りと喜び、夢と感動などをもたらすものであり、広く国民のニーズがある事業である。なお、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった事業目的を達成するためには、統括競技団体、中央競技団体及び強化・研究関係機関との連携を図りながら事業を進めることが重要であることから、国が総合的に推進していく必要がある。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	支出(委託)先の選定にあたっては、十分な公告期間を確保した上で、公募(企画競争)を実施する予定であり、その妥当性や競争性を確保している。 費目・用途は、事業を適切に実施するに当たり、必要なものに限定している。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	民間団体に対する委託事業として実施する予定であり、トップアスリートへのきめ細かな支援を行うべく、統括競技団体、大学教授、元トップスポーツ選手等で構成される委員会を開催し、事業受託者に対し助言を行うことにより、効率的かつ実効性の高い運用を行う予定である。 また、当該事業は「スポーツ基本計画」に基づき、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル数の獲得といった定量的な目標値を設定している。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業は、「スポーツ基本計画」(平成24年3月30日文科科学省策定)に掲げる目標の一つである、「夏季・冬季オリンピック競技大会において、それぞれ過去最多(夏季38(ロンドン)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得」を実現するための事業であり、広く国民の期待に応える事業である。</p> <p>また、スポーツ基本法(平成23年法律第78号)においては、「我が国のスポーツ選手が国際競技大会又は全国的な規模のスポーツの競技会において優秀な成績を収めることができるよう、スポーツに関する競技水準の向上に資する諸施策相互の有機的な連携を図りつつ、効果的に推進されなければならない。」と定められており、選手への直接的支援の充実を図ることで、オリンピック競技大会における過去最多を超えるメダル獲得数を旨とする本事業は、国の責務として実施すべき事業である。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
<p>本事業は、事業の成果目標等も立てられ、事業効果についても適切に検討されており、広く国民のニーズに応える事業であると考えられることから、当省の事業として実施することが必要と認められる。</p>			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</p> <p>スポーツ基本計画について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について：http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm</p>			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	—

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
2,953百万円

諸謝金、委員等旅費 1百万円
職員旅費 2百万円 } を含む

「スポーツ基本計画」(平成24年3月30日文部科学省策定)に掲げる目標の一つである「夏季・冬季オリンピック競技大会において、それぞれ過去最多(夏季38(ロンドン)、冬季10(長野))を超えるメダル数の獲得」の実現を図るため、トップレベル競技者が世界の強豪国に競り勝ち、確実にメダルを獲得することができるよう、メダル獲得が期待される競技をターゲットとして、多方面からの専門的かつ高度な支援を戦略的・包括的に実施するとともに、女性アスリートの国際競技力を向上するためのプログラム等を実施する。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位:百万円)

A.アスリート支援の実施等			E.女性スポーツの戦略的強化に向けた調査研究		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	サポートスタッフ、事務スタッフ	358	賃金	研究スタッフ、事務スタッフ	72
旅費	サポートスタッフ旅費	304	借料及び損料	スタッフ用PCリース、複合機リース	15
借料及び損料	マルチサポート・ハウス借料、複合機、AV機器	218	一般管理費		10
雑役務費	マルチサポート・ハウス設置業務	142	旅費	研究スタッフ旅費	6
一般管理費		118	その他	研究備品、消耗品	1
備品費	トレーニング用機器、サポート機器	94			
消耗品費	消耗品	41			
通信運搬費	サポート活動用携帯電話通話料、インターネット通信料、機材・食材輸送等	15			
諸謝金	映像編集・加工作業、調理スタッフ等	6			
印刷製本費	マルチサポート・ハウス運営マニュアル・リーフレット・IDカード	2			
計		1,298	計		104
B.研究開発プロジェクトの実施			F.女性特有の課題に対応した支援プログラム		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
備品費	研究開発用機器	315	旅費	サポートスタッフ旅費	17
賃金	研究スタッフ、事務スタッフ	304	諸謝金	サポートスタッフ謝金	13
雑役務費	政策・加工・テスト経費	158	賃金	総括責任者、事務スタッフ	11
一般管理費		91	一般管理費		3
旅費	研究スタッフ、事務スタッフ旅費	76	その他	スタッフ用PCリース、複合機リース、サポート用備品、消耗品	3
消耗品費	消耗品	22			
借料及び損料	スタッフ用PCリース、複合機リース	19			
諸謝金	被験者謝金	15			
計		1,000	計		47
C.女性アスリートの海外リーグ派遣プログラム			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	総括責任者、プログラムマネージャー、トライアルアスリート等	193			
旅費	総括責任者、プログラムマネージャー、トライアルアスリート旅費	52			
借料及び損料	アパートメント借り上げ	29			
一般管理費		27			
計		301	計		0
D.女性競技種目戦略的強化プログラム			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
賃金	総括責任者、プログラムマネージャー、トライアルアスリート等	164			
一般管理費		18			
旅費	総括責任者、プログラムマネージャー、トライアルアスリート旅費	15			
その他	スタッフ用PCリース、複合機リース、消耗品	3			
計		200	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)